

要 請 書

最高裁判所 第2小法廷 御中

法務大臣

殿

事件番号 平成16年(し)第258号

私は貴最高裁判所に特別抗告を申し立てている、いわゆる「袴田事件」の犯人とされている、袴田巖さんの無実を信じている者です。

袴田さんは逮捕されてすでに42年に及ぼうとしています。袴田さんの逮捕と、常識をはるかに超えた長時間の取り調べ。被害者4人に骨まで切断するような傷を負わせ、死亡させたとするにはあまりにもお粗末な工作用の小刀を凶器とした判決。そして、一審公判途中に出てきた5点の衣類の出現など、袴田さんを犯人とするにはあまりにも疑問が多いと思います。

また、

私は、上記のごとく「袴田事件」について、一日も早く再審を開始するよう、要請します。

20 年 月 日

氏名： _____

住所： _____

私は現在最高裁判所に特別抗告を申し立てている、いわゆる「袴田事件」の犯人とされている、袴田巖さんの無実を信じている者です。

袴田巖さんへの死刑判決は一審静岡地裁の元裁判官ですら反対した中で下されたものです。

袴田巖さんは1966年に逮捕され、すでに獄中42年に及ぼうとしています。最近になって応じている面会の際の発言も、意味不明な内容が多く、糖尿病も発病していることが判明しています。

疑わしい証拠での死刑判決、病気と年齢を考えると、1日も早く身柄の解放が出来ないのでしょうか。

袴田巖さんの身柄解放という、法務大臣の決断を要請致します。